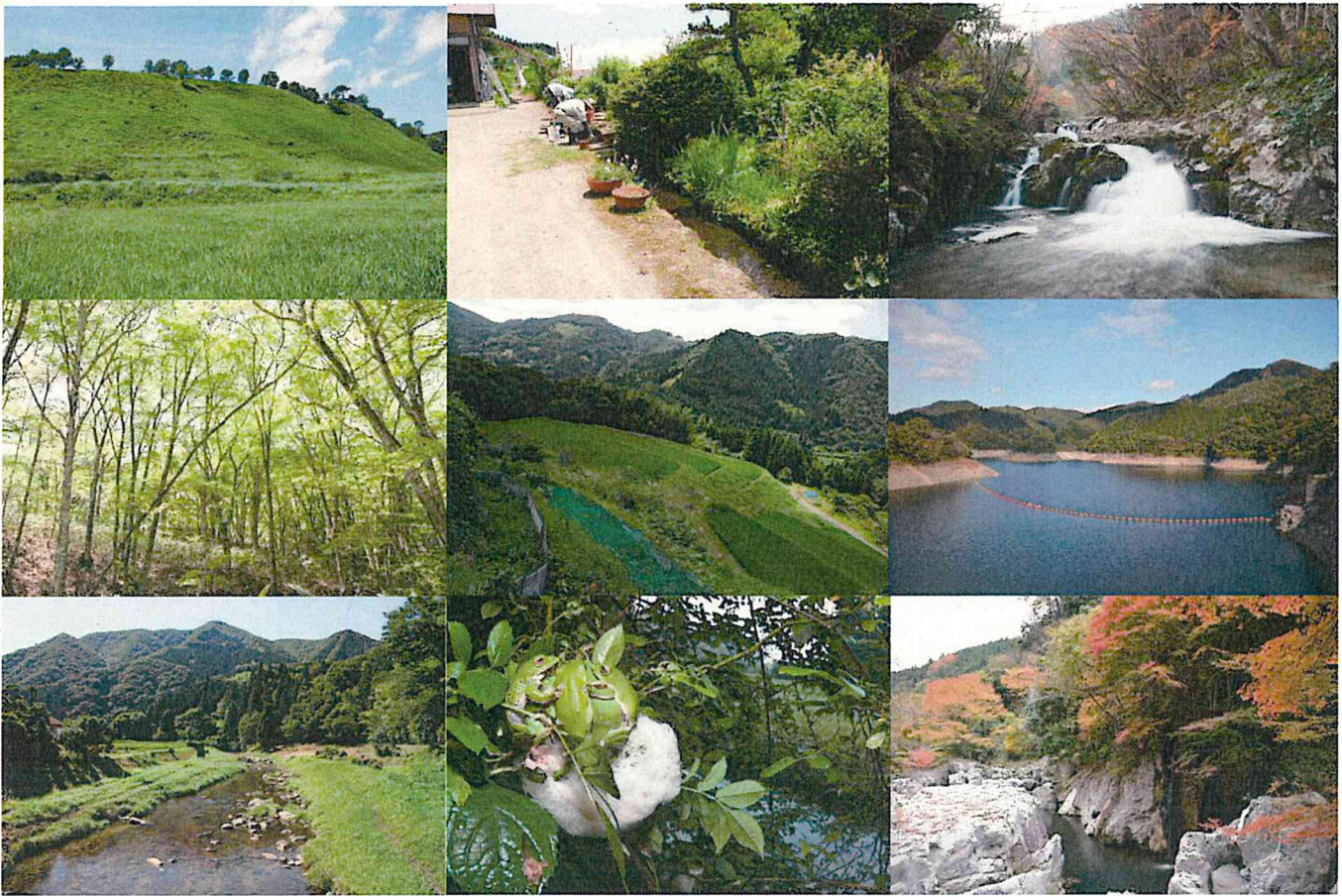


### 3. 地域連携保全活動計画



地域連携保全活動計画とは、平成 23 年度に施行された  
生物多様性地域連携促進法に基づく法定計画です。

地域連携保全活動とは、地域の自然的・社会的条件に応じ、  
地域における多様な主体が有機的に連携して行う生物の多様性を保全するための活動です。

「有機的に連携して」とは、地域で活動を行う多様な主体が、  
相互に連絡を取り合い知識や経験を共有し、  
各主体が適切な役割分担の下で共通の目標に向けた活動を  
行うことを意味しています。

「真庭市における生物多様性保全」の観点をもとに、  
真庭が誇る豊富な資源の中から抽出した『まにわbスポット』。  
地域連携保全活動計画では、これらのまにわbスポットのうち、  
さらに地域連携保全活動を実施しやすい  
まにわbスポットを抽出し、計画を策定しました。



## ①目的

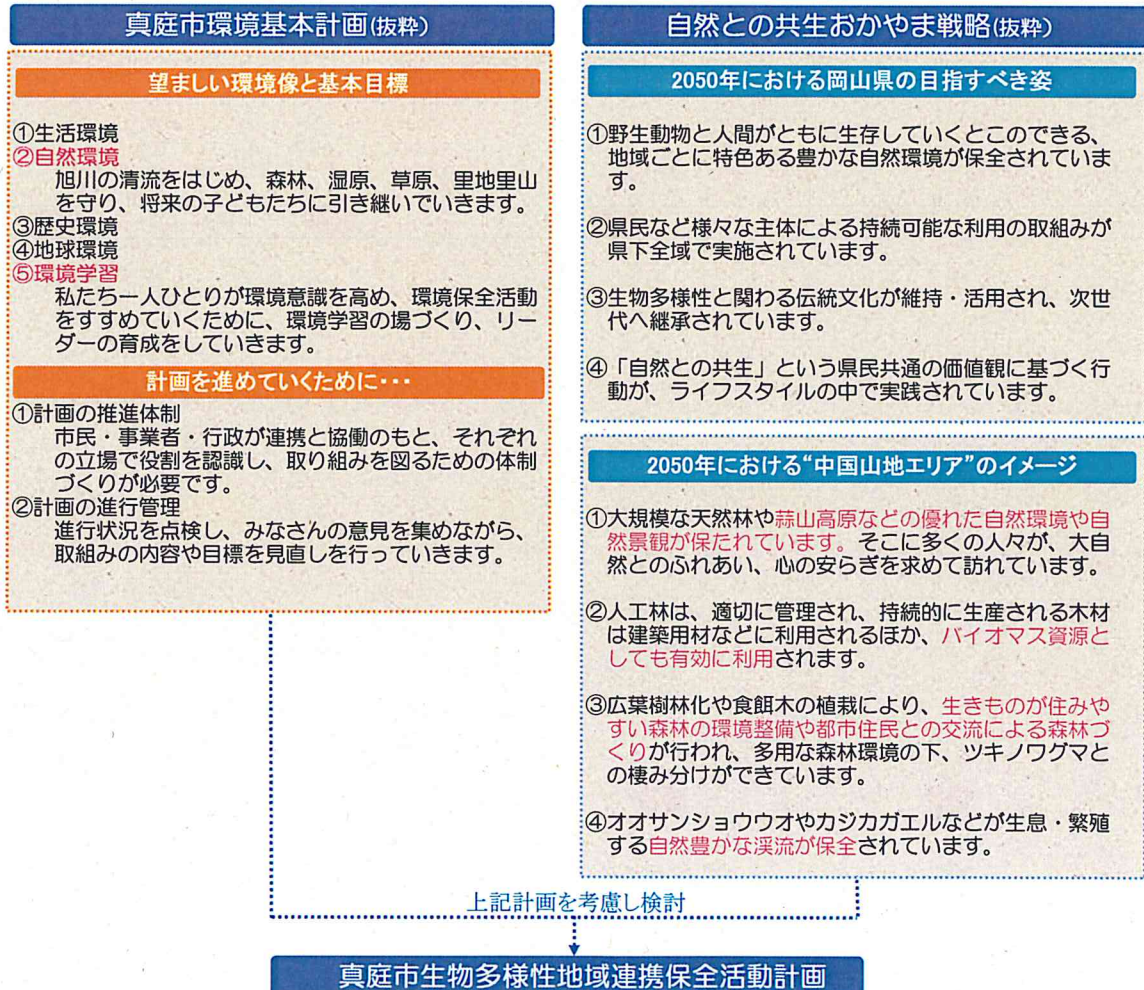
真庭市生物多様性地域連携保全活動計画の策定目的は、以下のとおりです。

- 1 真庭市内に見られる豊かな自然や地域固有の生き物を保全し、それらの生息・生育環境の維持・再生に向けた活動・調査を推進する。
- 2 地域内外の交流を促進し、自然から育まれた地域の文化・伝統を再発見し、身近にある豊かな自然への理解と愛着心を醸成できるよう、生物多様性の保全活動を通じた地域づくりの取り組みを行う。
- 3 真庭市が推進する森林資源を活用した自然エネルギーの循環システムに寄与する活動計画を実践することにより、里地里山で保全活動を行う意義や自然からの恵みに対する理解の浸透を図る。
- 4 保全活動の内容に関する情報提供及び情報を共有できる場を設けるとともに、市民・企業・学識者など多様な主体が参画できる体制を構築する。

## ②位置づけ

地域連携保全活動計画は、生物多様性地域連携促進法（平成 22 年 12 月 10 日法律第 72 号）に基づく法定計画です。上位計画である「真庭市環境基本計画」（平成 20 年 3 月真庭市）や「自然との共生おかやま戦略」（平成 25 年 3 月岡山県）に掲げられた基本目標やエリアごとの施策を考慮した計画としています。

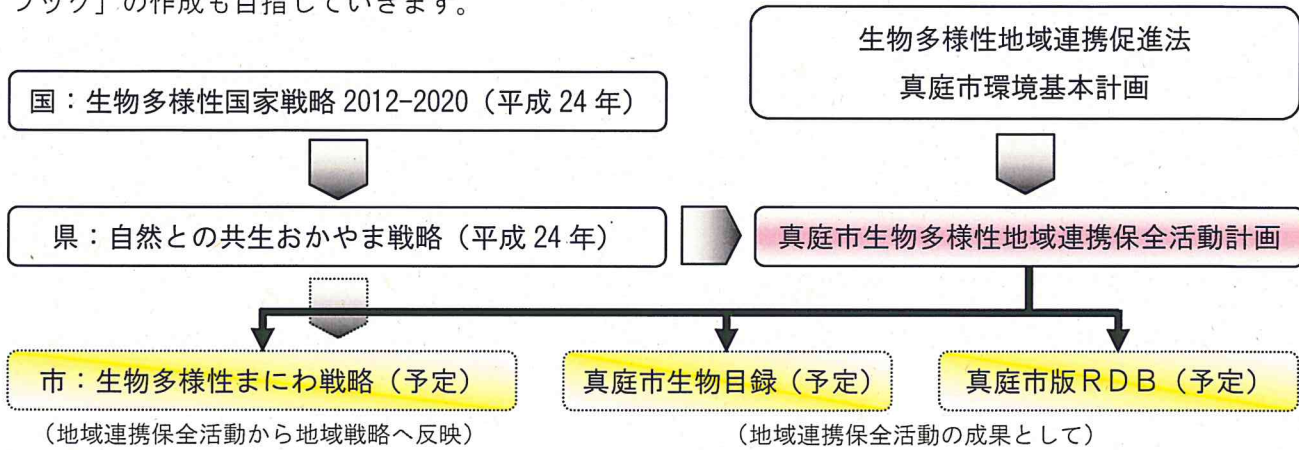
また、本計画は、今後策定予定である「生物多様性まにわ戦略（仮称）」における生物多様性保全のリーディングプロジェクトとして位置づけています。





### ③方向性

真庭市生物多様性地域連携保全活動の目的で示した「生物多様性の保全」「保全活動を通じた地域づくり」「地域独自のエネルギー循環システムの寄与」「多様な主体が関わる地域連携の構築」を実践しながら、生物多様性地域戦略（生物多様性まにわ戦略（仮称））策定にむけた活動を推進するとともに、各活動や調査等で得られた成果をとりまとめ、一元的に管理することで「真庭市生物目録」や「真庭市版レッドデータブック」の作成も目指していきます。



注) RDB: レッドデータブック。その地域の絶滅の恐れのある野生生物が絶滅の危険性に応じてランク分けされている資料。国や県では、作成公表済みで、市町村単位でも作成されつつある。

### ④目標

ここでは、「自然との共生おかやま戦略」の 2050 年の中国山地エリアのイメージを参考に、真庭市内の自然環境の特性を踏まえ、長期的目標として、将来あるべき姿を定性的目標として掲げました。

- 目標 1 : 中国山地の山々や蒜山高原の自然環境及び地域景観の保全
- 目標 2 : 森林資源の有効活用による循環型地域社会の形成と健全な森林環境の再生
- 目標 3 : 多様な人々による里地里山環境の整備活動による生物多様性の保全
- 目標 4 : 旭川上流水系における多様な生き物が棲む水辺や溪流環境の保全
- 目標 5 : 石灰岩地や蛇紋岩地等、地域でも特異的要素を持った自然環境の保全

### ⑤区域

「真庭市における生物多様性保全」の観点のもと、6つの視点から抽出した 66 箇所の「まにわ b スポット」の中から、保全対象や各団体などの活動状況を踏まえた実効性及び連携の実現性を考慮し、以下のとおりの区域を設定しました。

目標に基づく活動主旨	活動区域	活動計画内容
中国山地や蒜山高原の自然の 魅力を知る活動エリア	蒜山地域	b スポット No8 「虫たちとの出会い-スキー場で草っチャオ」 b スポット No7 「真庭の原風景を残そう！蒜山鳩ヶ原の保全」 b スポット No66 「湿原の底力！内海谷湿原の再生」
里地里山の再生活動を 体験する活動エリア	中和地域	b スポット No26 「トンボの森づくり」 「浜子でアミーゴ！谷津田エコアップ作戦」 「よみがえる山王湿原-湿原エコアップ作戦」 「津黒高原湿原再生」
旭川やその支流の生き物の 多様性を調べる活動エリア	旭川とその支流 湯原ダム	b スポット No30・31 「静かな湖畔の森の陰から、野鳥を探そう！」 b スポット No32 「川の王者 “ハンザキ大明神を追う！”」 b スポット No46 「今年もいるかな？旭川の水鳥たち」 b スポット No42 「魚たちからの伝言 “川へおいでよ！”」



# 活動計画区域

## 中国山地や蒜山高原等の自然の魅力を知る活動区域

[環境資源No.8 (真庭市蒜山本茅部地区)]

活動計画②

『虫たちとの出会い - スキー場で草っチャオ!』



[環境資源No.7 (真庭市蒜山上徳山地区)]

活動計画①

『真庭の原風景を残そう! 蒜山鳴ヶ原の保全』



[環境資源No.66 (真庭市蒜山上徳山地区)]

活動計画⑩

『湿原の底力! - 内海谷湿原の再生』



## 里地・里山の再生活動を体験する活動区域

[環境資源No.26 (真庭市蒜山下和・蒜山吉田地区)]

活動計画③

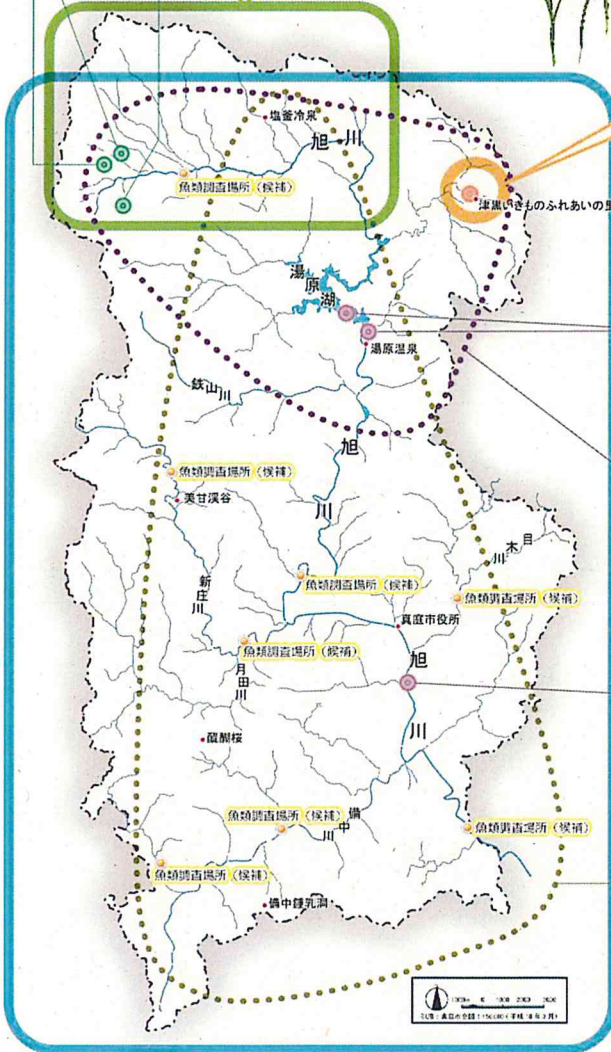
『トンボの森づくり - 津黒の里山ピフォー・アマタ』



『浜子でアミ〜こ! - 谷津田エコアップ作戦』



『よみがえる山王湿原 - 湿原エコアップ作戦』



## 旭川やその支川の生きものの多様性を調べる活動区域

[環境資源No.30, 31 (真庭市豊栄、下湯原地区等)]

活動計画⑥

『♪ 静かな湖畔の森の陰から、野鳥を探そう!』



[環境資源No.32 (真庭市湯原・蒜山地域)]

活動計画⑦

『ハンザキ大明神を追う!』



[環境資源No.46 (真庭市福田・野川地区等)]

活動計画⑧

『今年もいるかな? 旭川の水鳥たち』



[環境資源No.42 (真庭市全域の河川)]

活動計画⑨

『魚達から伝言“川においでよ!”』



## ⑥期間

本活動計画は、長期的視野での再生計画や調査地域が広範囲に及ぶものなど、短期間で成果が現れないものも含まれていることから、毎年度開催する「真庭市生物多様性推進会議（仮称）」において、進捗状況や活動内容、連携体制などを点検、評価、見直しを行い進めることとします。

よって、基本的には1年間のPDCAサイクルを回しながら、1年更新での実施となります。

